交付運用報告書

GCIエンダウメント ファンド

（成長型／安定型）

追加型投信／内外／資産複合

第１期＜決算日2016年９月26日＞

作成対象期間：2015年９月25日～2016年９月26日

成長型

第１期末（2016年９月26日）	
基準価額	10,767円
純資産総額	554百万円
騰落率	7.7%
分配金	0円

安定型

第１期末（2016年９月26日）	
基準価額	10,637円
純資産総額	464百万円
騰落率	6.4%
分配金	0円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

当ファンドは、信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の方法により閲覧、ダウンロードすることができます。

＜運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセスし、「ファンド」から当ファンドの詳細ページを表示させ、当該ページから運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

なお、運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「GCIエンダウメントファンド（成長型／安定型）」は、2016年９月26日に第１期の決算を行いました。

当ファンドは、投資対象ファンド（投資信託証券）を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、REIT等に分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ることとしており、かかる投資方針に沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

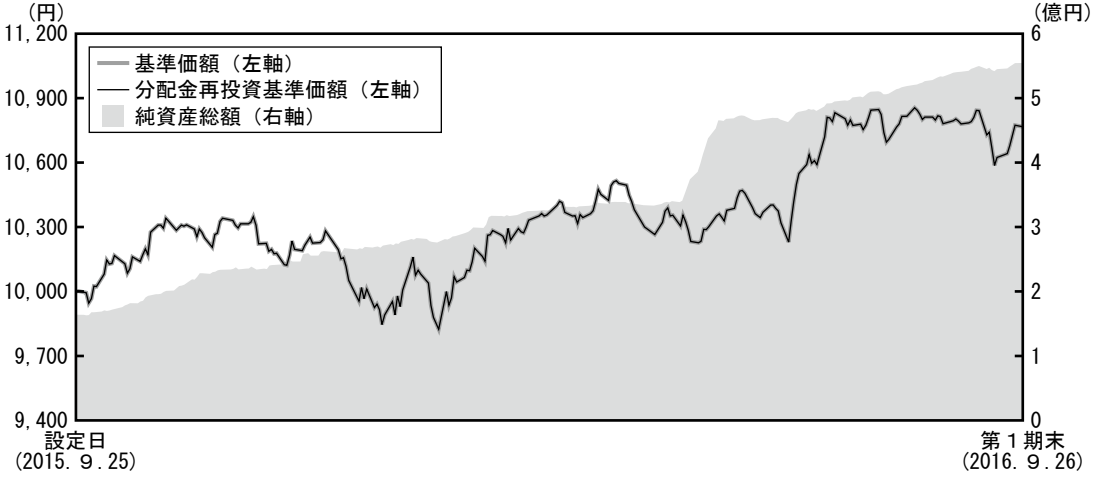
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社GCIアセット・マネジメント
東京都千代田区西神田3-8-1　千代田ファーストビル東館12F
お問い合わせ先（投資信託事業グループ）
TEL：03-3556-5540（営業日の９:00～17:00）
URL：http://www.gci.jp/index2.html

運用経過

（成長型）

■基準価額等の推移



設 定 日：10,000円
第１期末：10,767円（既払分配金（税引前）：0円）
騰 落 率：7.7%（分配金再投資ベース）

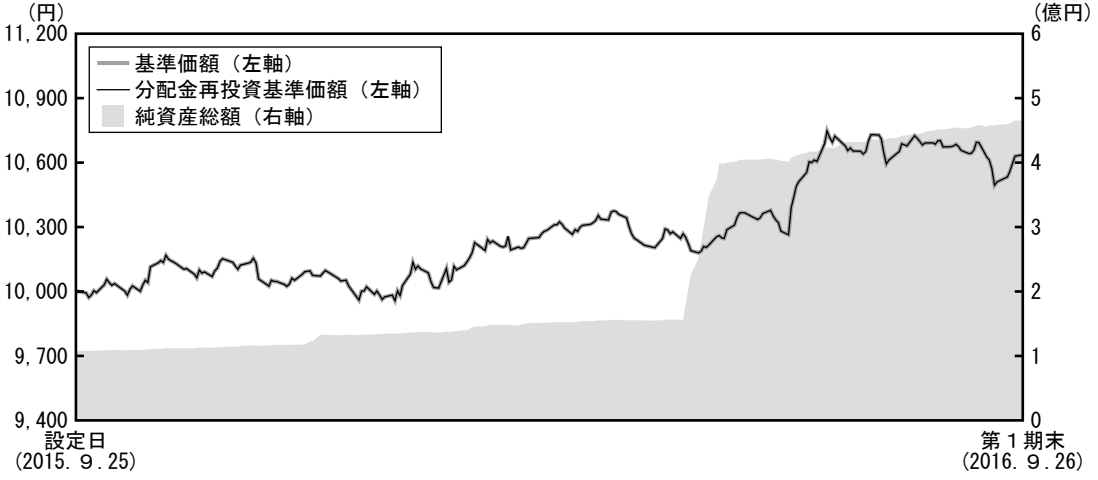
（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

GCIエンダウメントファンド（成長型）の基準価額は堅調に推移し、当期間のリターンは＋7.7%となりました。当期間は一時的にボラティリティの高まる局面があったものの、世界的に株式・債券ともに上昇し、当ファンドのグローバル分散投資が有効に機能しました。６月の英国EU離脱決定は金融市場に混乱をもたらしましたが、当ファンドは特徴としているオルタナティブ投資が奏功し、この局面でも基準価額を大きく上昇させました。くわしくは、「投資環境」をご参照ください。

（安定型）

■基準価額等の推移



設 定 日：10,000円
第１期末：10,637円（既払分配金（税引前）：0円）
騰 落 率：6.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■基準価額の主な変動要因

GCIエンダウメントファンド（安定型）の基準価額は堅調に推移し、当期間のリターンは＋6.4%となりました。当期間は一時的にボラティリティの高まる局面があったものの、世界的に株式・債券ともに上昇し、当ファンドのグローバル分散投資が有効に機能しました。６月の英国EU離脱決定は金融市場に混乱をもたらしましたが、当ファンドは特徴としているオルタナティブ投資が奏功し、この局面でも基準価額を大きく上昇させました。くわしくは、「投資環境」をご参照ください。

■１万口当たりの費用明細

（成長型）

項目	第１期 2015年９月25日～2016年９月26日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	74円	0.714%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,360円です。
（投信会社）	(34)	(0.328)	当ファンドの運用、受託銀行への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等
（販売会社）	(34)	(0.328)	購入後の情報提供、運用報告書等の各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等
（受託会社）	(6)	(0.058)	当ファンドの財産の管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	9	0.087	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数×10,000
（投資信託受益証券）	(9)	(0.087)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	13	0.125	(c)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数×10,000
（保管費用）	(5)	(0.048)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(8)	(0.077)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	96	0.926	

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。
（注）比率は、１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

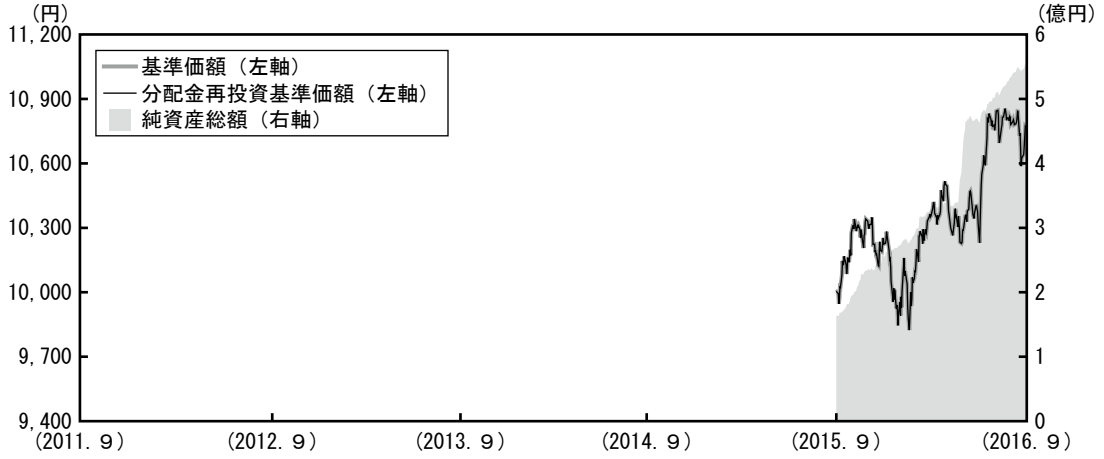
（安定型）

項目	第１期 2015年９月25日～2016年９月26日		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	72円	0.700%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,280円です。
（投信会社）	(33)	(0.321)	当ファンドの運用、受託銀行への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等
（販売会社）	(33)	(0.321)	購入後の情報提供、運用報告書等の各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等
（受託会社）	(6)	(0.058)	当ファンドの財産の管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売買委託手数料	12	0.117	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数×10,000
（投資信託受益証券）	(12)	(0.117)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	10	0.097	(c)その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数×10,000
（保管費用）	(4)	(0.039)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(6)	(0.058)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	94	0.914	

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。
（注）比率は、１万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近５年間の基準価額等の推移

（成長型）　　（2011年９月26日～2016年９月26日）



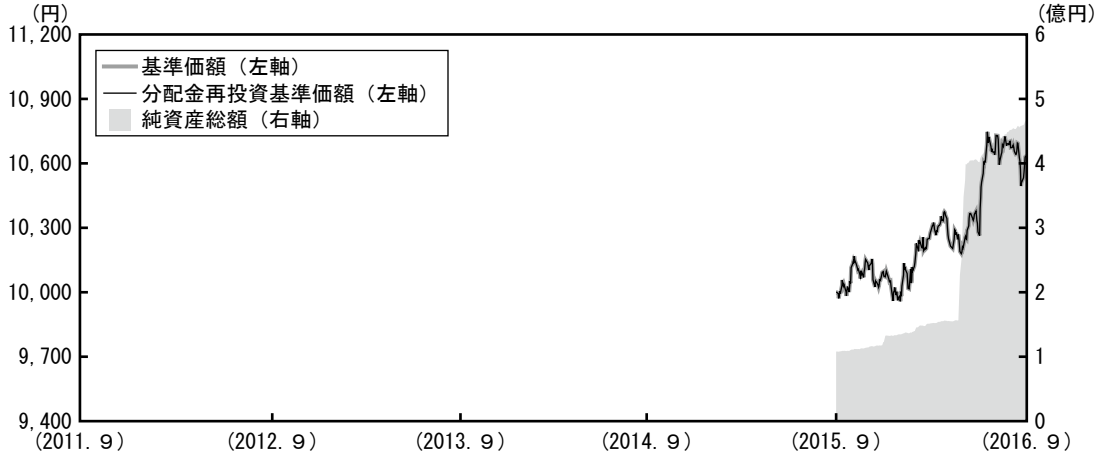
（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではない点にご留意ください。

（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

	2015年９月25日 設定日	2016年９月26日 決算日
基準価額　（円）	10,000	10,767
期間分配金合計（税引前）　（円）	－	0
分配金再投資基準価額の騰落率　（％）	－	7.7
純資産総額　（百万円）	163	554

（注）各金額は、項目ごとに単位未満を切り捨てています。

（安定型）　　（2011年９月26日～2016年９月26日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なり、また課税条件によっても異なるため、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではない点にご留意ください。
（注）当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

	2015年９月25日 設定日	2016年９月26日 決算日
基準価額　（円）	10,000	10,637
期間分配金合計（税引前）　（円）	－	0
分配金再投資基準価額の騰落率　（％）	－	6.4
純資産総額　（百万円）	108	464

（注）各金額は、項目ごとに単位未満を切り捨てています。

■投資環境

【先進国株式】

先進国の株式市場は上昇しました。2016年年初にはサウジアラビアとイランの国交断絶や原油安、中国経済への懸念などを受けて大きく下落した他、６月の英国EU離脱決定も一時的な株価の急落を招きましたが、いずれも比較的早期に回復し、当期間を通じては上昇となりました。

【新興国株式】

新興国の株式市場は2015年半ばから軟調な展開が続いていましたが、2016年年初の急落を底に回復に転じ、当期間では上昇となりました。米国の追加利上げ観測が後退する中、英国EU離脱決定の影響も小さく、２月以降は堅調な展開となりました。

【先進国債券】

世界的な金融緩和の継続と利回り低下の傾向を受け、先進国債券は当期間を通じて非常に堅調な展開となりました。2015年12月に米国が９年半ぶりとなる利上げを行いましたが、それによる利回り上昇は小幅に留まり、米国債も当期間で上昇となりました。日欧では多くの政府債がマイナス利回りとなっており、債券の割高感が高まっているものと考えています。

【REIT市場】

世界的な金利低下と利回り追求の動きを受け、REIT市場は日米ともに上昇となりました。

【オルタナティブ】

当期間、ヘッジファンドのパフォーマンスは総じて軟調なものとなりました。主要なヘッジファンド戦略である株式ロング・ショート戦略やマーケット・ニュートラル戦略が低迷しましたが、当ファンドの投資対象であるGCIシステマティック・マクロファンド クラスAは大きく上昇し、パフォーマンスに貢献しました。

【為替相場】

当期間を通じ、円相場は対ドルで大きく円高方向に動きました。当ファンドは為替リスクをヘッジしているため、これによる影響は限定的です。

■当該投資信託のポートフォリオ

主として各国のETFとヘッジファンド（GCIシステマティック・マクロファンド クラスA）に投資しており、期初に定めた目標配分比率に従ってポートフォリオの組成を行いました。この目標配分比率は、長期間にわたるすばらしい運用実績を残してきたエンダウメント（大学財団）型の投資戦略をお手本に定めたものであり、オルタナティブ投資を積極的に活用しつつ、リスクとリターンの源泉を分散・多様化するとともに運用コストにも注意を払い、運用資産の長期的成長を効率的に目指したファンド運営を行いました。

日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）は、マイナス金利導入後短期金融市場が厳しさを増しており、今後も安定した収益の獲得が見込めないと判断したことから全売却を行い、当期末時点における組入比率は０％となりました。その他の組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

各ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

（成長型）

収益分配金については、収益分配方針に基づき、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】　（１万口当たり・税引前）

項目		第１期
		2015年９月25日～2016年９月26日
当期分配金	（円）	―
（対基準価額比率）	（％）	―
当期の収益	（円）	―
当期の収益以外	（円）	―
翌期繰越分配対象額	（円）	767

（注）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。
　　また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（安定型）

収益分配金については、収益分配方針に基づき、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】　（１万口当たり・税引前）

項目		第１期
		2015年９月25日～2016年９月26日
当期分配金	（円）	―
（対基準価額比率）	（％）	―
当期の収益	（円）	―
当期の収益以外	（円）	―
翌期繰越分配対象額	（円）	637

（注）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。
　　また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注）円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
（注）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

主として、先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、REIT等を実質的な投資対象とする投資信託証券およびヘッジファンドに分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。

当ファンドの決算日である2016年９月26日に、運用開始後一年を経て、初の基本資産配分（ターゲット・ポートフォリオ）の見直しを行いました。基本資産配分の前提となるビッグ・ピクチャーは、10年程度の時間軸でマクロ環境を俯瞰したものですが、次の通り変更ありません。

第一に、21世紀直前に本格化したグローバル化という世界史的イベントに伴い、ディスインフレ環境が続いています。グローバル化の恩恵を最大限に享受してきた新興国経済の急成長が一段落したこともあり、このディスインフレ環境は長期化するものと考えています。一方、ディスインフレ環境の結果として進行した金利低下も、先進国圏ではゼロ金利という限界に迫っており、金融危機後の金利低下一辺倒の状況に変化の兆しがみられることには留意を要します。

第二に、新興国圏の成長速度が大きく鈍化した結果、先進国圏と新興国圏の乖離（デカップリング）が金融市場に影響を与える可能性があります。とくに、米国経済が相対的に好調であるとのコンセンサスの下、2014年からドル高が進んでいます。ドル高は、商品市況と、ドル安局面でその恩恵を存分に享受してきた新興国経済にとって、強い逆風となります。1997年のアジア通貨危機がその典型例です。人民元をドルに連動させてきた中国経済は、景気循環や人口動態など国内固有の要因に加えて、ドル高という大きな負荷が二重にかかっていると考えています。

以上のビッグ・ピクチャー自体は今回も不変ですが、先進国圏の金利低下が続き、各中央銀行の金融緩和政策が長期化しています。市場の期待を裏切らない金融政策が、歴史的高値圏にある債券市場・株式市場を支えていますが、換言すれば、市場の歪みが静かに拡大している可能性も否定できません。日欧の長期金利はマイナス金利圏にあることを踏まえ、グローバル債券への配分を引き下げる一方、資本市場が大きく崩れるようなイベントリスクに耐性が期待できるオルタナティブ戦略への配分を引き上げました。安定型では債券の代替として若干のキャッシュを保有することも含めて、ダウンサイドに対してより慎重なポートフォリオ配分としています。

お知らせ

◇約款変更

該当事項はありません。

◇運用体制の変更

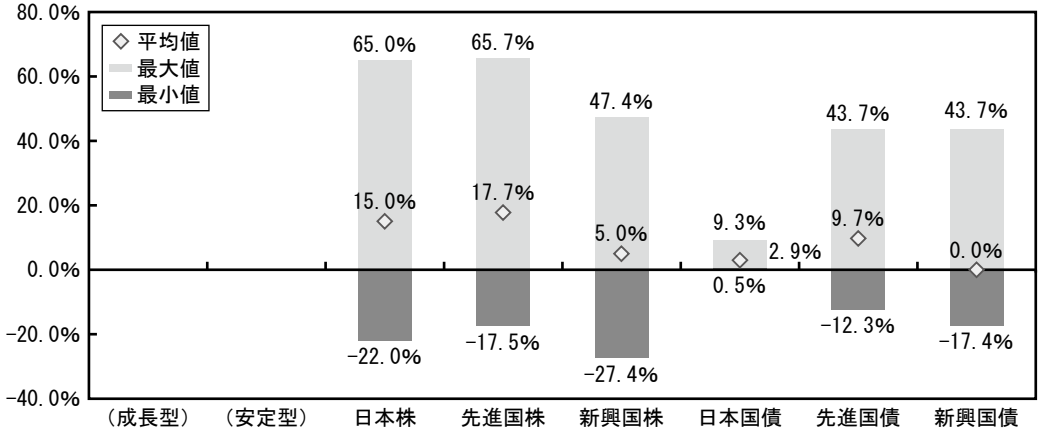
該当事項はありません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として無期限（2015年９月25日設定）	
運用方針	成長型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを増やしつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。
	安定型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを抑制しつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して安定的な運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資対象ファンド（投資信託証券）を主要投資対象とします。	
運用方法	投資対象ファンド（投資信託証券）を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、REIT等に分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ります。	
分配方針	年１回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

（成長型）（安定型）



期間：2011年９月～2016年８月

（注）代表的な資産クラスとの騰落率の比較は、2011年９月～2016年８月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものであり、ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成しています。なお、すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
（注）ファンドは、2016年８月現在、設定後１年を経過していないため、年間騰落率はありません。

＜代表的な各資産クラスの指数＞
日本株　：TOPIX（配当込み）
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（ヘッジなし円ベース）
※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●指数について

※代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しています。株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。
また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害など、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。
※TOPIX（配当込み）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。
※MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
※NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。
※シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし円ベース）に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。
※JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（ヘッジなし円ベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（成長型）

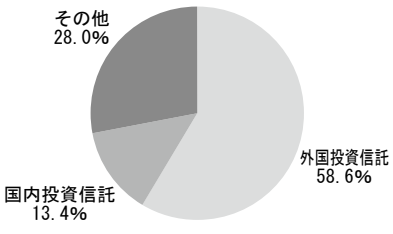
◇組入ファンド

（組入銘柄数：９銘柄）

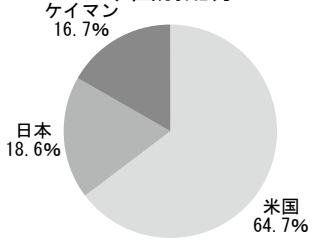
	第１期末 （2016年９月26日）
バンガード・S&P500 ETF	16.0%
GCIシステマティック・マクロファンド クラスA	12.0%
バンガード・米国トータル債券市場ETF	9.5%
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	9.5%
TOPIX連動型上場投資信託	9.0%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	4.7%
バンガードREIT ETF	4.5%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	4.3%
バンガード・FTSE・エマージング・マーケッツETF	2.3%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。
（注）上位３ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

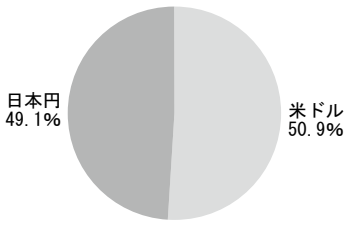
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。
（注）国別配分は、国・地域別による配分です。
（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

項目	第１期末 2016年９月26日
純資産総額	554,632,307円
受益権総口数	515,106,977口
１万口当たり基準価額	10,767円

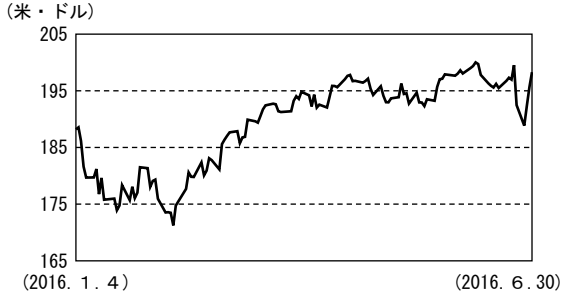
（注）当期中における追加設定元本額は403,414,357円、期中一部解約元本額は52,208,603円です。

■組入上位ファンドの概要

（成長型）

《バンガード・S&P500 ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

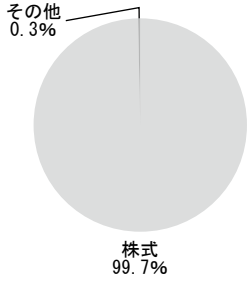
項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.05%

※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

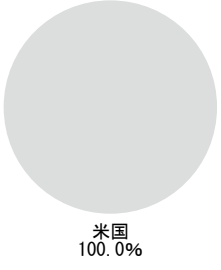
◇上位10銘柄

	銘柄名	業種	組入比率（%）
1	Apple Inc.	Technology Hardware, Storage & Peripherals	2.9
2	Alphabet Inc.	Internet Software & Services	2.3
3	Microsoft Corp.	Systems Software	2.2
4	Exxon Mobil Corp.	Integrated Oil & Gas	2.1
5	Johnson & Johnson	Pharmaceuticals	1.8
6	General Electric Co.	Industrial Conglomerates	1.6
7	Amazon.com Inc.	Internet Retail	1.5
8	Berkshire Hathaway Inc.	Multi-Sector Holdings	1.5
9	AT&T Inc.	Integrated Telecommunication Services	1.5
10	Facebook Inc.	Internet Software & Services	1.4
組入銘柄数			507銘柄

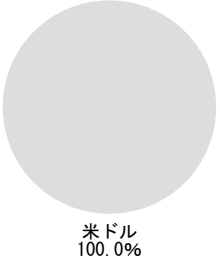
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



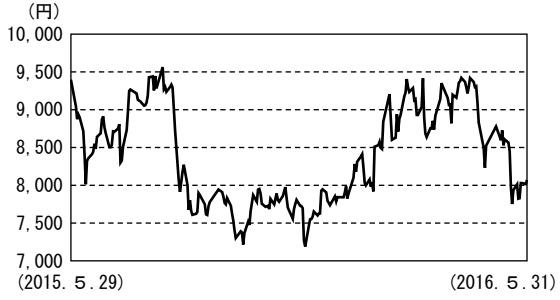
（注）基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。
（注）上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。
（注）上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要

（成長型）

《GCIシステマティック・マクロファンド クラスA》

◇基準価額の推移



◇１万口当たりの費用明細

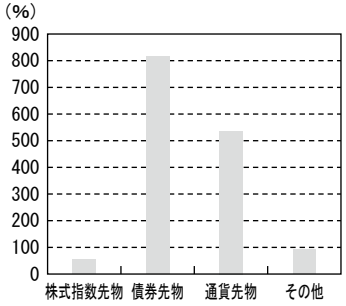
当該情報の取得が不可能であるため記載していません。

◇派生商品上位10銘柄

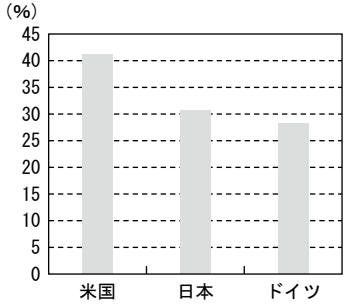
	銘柄	種類	通貨	国	組入比率(%)
1	JPN 10Y BOND(OSE) Jun16	債券先物	JPY	日本	422.5
2	EURO-BOBL FUTURE Jun16	債券先物	EUR	ドイツ	261.5
3	BP CURRENCY FUT Jun16	通貨先物	USD	米国	186.7
4	JPN YEN CURR FUT Jun16	通貨先物	USD	米国	150.0
5	Euro-OAT Future Jun16	債券先物	EUR	ドイツ	113.4
6	EURO FX CURR FUT Jun16	通貨先物	USD	米国	98.6
7	C$ CURRENCY FUT Jun16	通貨先物	USD	米国	54.4
8	AUDUSD Crncy Fut Jun16	通貨先物	USD	米国	46.8
9	DAX INDEX FUTURE Jun16	株式指数先物	EUR	ドイツ	23.4
10	Russell 2000 Mini Jun16	株式指数先物	USD	米国	22.8
組入銘柄数					12銘柄

（注）銘柄は、GCIシステマティック・マクロファンド クラスAが実質保有している銘柄です。
（注）国は、先物が上場している取引所の所在地です。

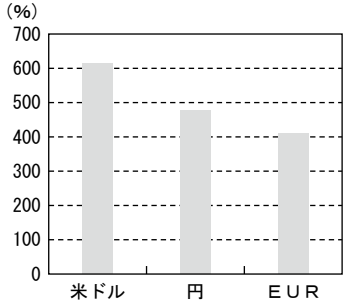
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



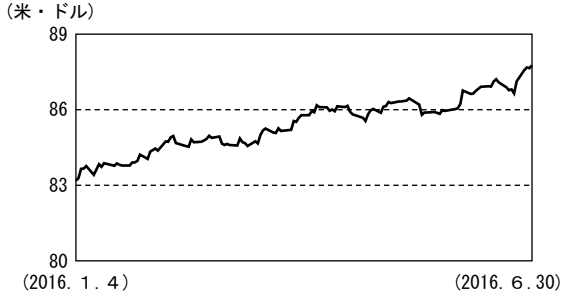
（注）基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注）派生商品上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在、同ファンドが実質保有している銘柄にかかるものです。
（注）派生商品上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入銘柄の評価額の割合、国別配分の比率は組入銘柄の評価総額に対する各組入銘柄の評価額の割合です。
（注）国別配分は、先物が上場している取引所の所在地に関する割合です。
（注）通貨別配分は、基準通貨に関する割合です。

■組入上位ファンドの概要

（成長型）

《バンガード・米国トータル債券市場ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

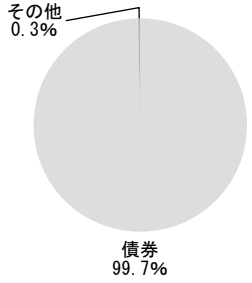
項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.06%

※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

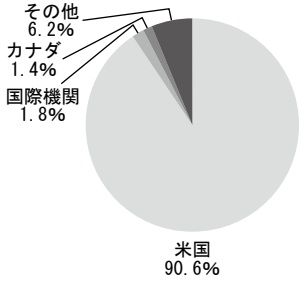
◇上位10銘柄

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Federal National Mortgage Assn. 3.5% 10/01/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	2.5
2	Government National Mortgage Assn. 3.5% 09/20/2025-08/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	2.3
3	Federal National Mortgage Assn. 3% 09/01/2020-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.8
4	Federal National Mortgage Assn. 4% 06/01/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.6
5	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3.5% 12/01/2020-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.5
6	Government National Mortgage Assn. 4% 08/15/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.3
7	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3% 03/01/2021-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.2
8	Government National Mortgage Assn. 3% 01/15/2026-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.1
9	Federal Home Loan Mortgage Corp. 4% 03/01/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.0
10	Federal National Mortgage Assn. 4.5% 01/01/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	0.8
組入銘柄数				8,225銘柄

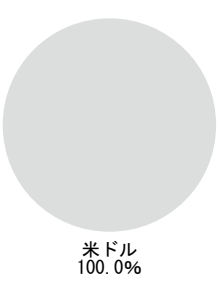
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



（注）基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。
（注）上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。
（注）上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（安定型）

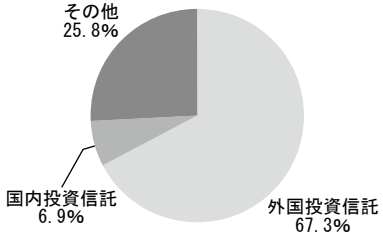
◇組入ファンド

（組入銘柄数：８銘柄）

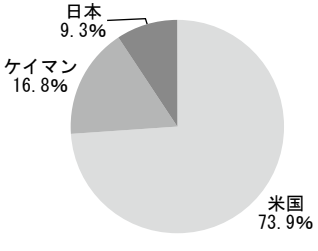
	第１期末 （2016年９月26日）
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	21.6%
バンガード・米国トータル債券市場ETF	21.6%
GCIシステマティック・マクロファンド クラスA	12.4%
バンガード・S&P500 ETF	7.0%
TOPIX連動型上場投資信託	4.7%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	2.4%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	2.2%
バンガードREIT ETF	2.2%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。
（注）上位３ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

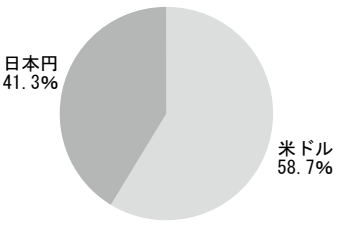
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。
（注）国別配分は、国・地域別による配分です。
（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

項目	第１期末 2016年９月26日
純資産総額	464,868,140円
受益権総口数	437,021,039口
１万口当たり基準価額	10,637円

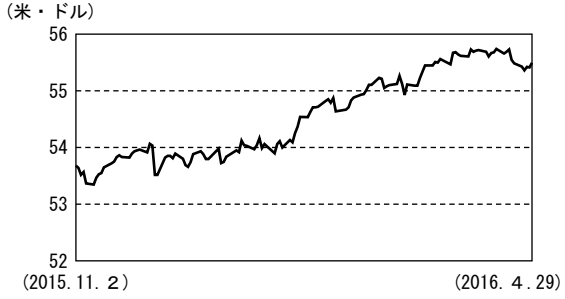
（注）当期中における追加設定元本額は337,838,946円、期中一部解約元本額は8,870,513円です。

■組入上位ファンドの概要

（安定型）

《バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）》

◇基準価額の推移



◇費用明細

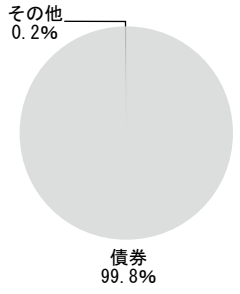
項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.12%

※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

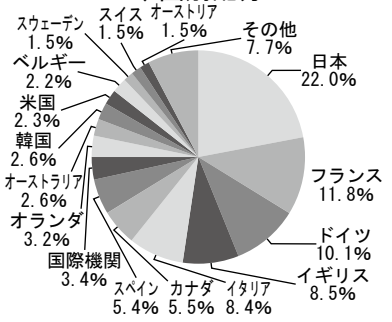
◇上位10銘柄

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	DEUTSCHLAND REP 0.5% 02/15/2026	債券	ユーロ	1.0
2	JAPAN GOVT 5-YR 0.1% 09/20/2020	債券	日本円	0.6
3	JAPAN GOVT 5-YR 0.1% 12/20/2019	債券	日本円	0.5
4	JAPAN GOVT 5-YR 0.1% 03/20/2020	債券	日本円	0.5
5	BUNDESOBL-173 0% 04/09/2021	債券	ユーロ	0.5
6	TREASURY 2% 07/22/2020	債券	英ポンド	0.4
7	DEUTSCHLAND REP 1.5% 02/15/2023	債券	ユーロ	0.4
8	UK TSY GILT 3.25% 01/22/2044	債券	英ポンド	0.4
9	JAPAN GOVT 5-YR 0.1% 06/20/2020	債券	日本円	0.4
10	FRANCE O.A.T. 0% 05/25/2020	債券	ユーロ	0.3
組入銘柄数				4,009銘柄

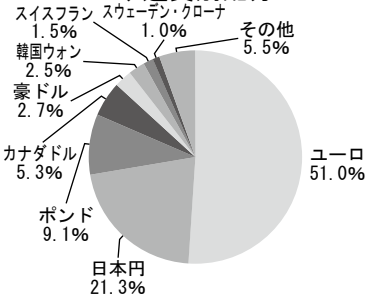
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



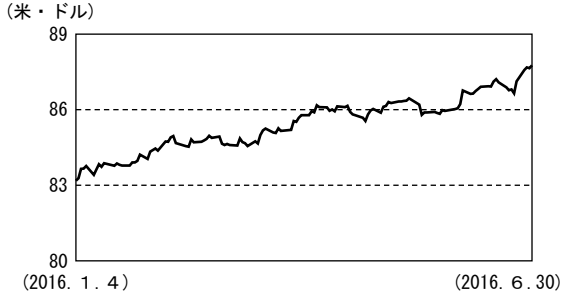
（注）基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。
（注）上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。
（注）上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要

（安定型）

《バンガード・米国トータル債券市場ETF》

◇基準価額の推移



◇費用明細

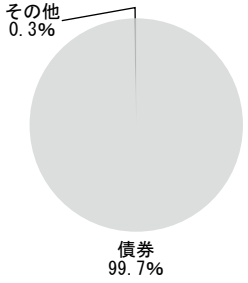
項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.06%

※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

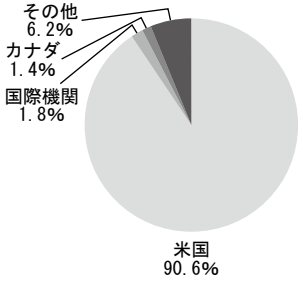
◇上位10銘柄

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Federal National Mortgage Assn. 3.5% 10/01/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	2.5
2	Government National Mortgage Assn. 3.5% 09/20/2025-08/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	2.3
3	Federal National Mortgage Assn. 3% 09/01/2020-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.8
4	Federal National Mortgage Assn. 4% 06/01/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.6
5	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3.5% 12/01/2020-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.5
6	Government National Mortgage Assn. 4% 08/15/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.3
7	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3% 03/01/2021-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.2
8	Government National Mortgage Assn. 3% 01/15/2026-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.1
9	Federal Home Loan Mortgage Corp. 4% 03/01/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	1.0
10	Federal National Mortgage Assn. 4.5% 01/01/2018-07/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	0.8
組入銘柄数				8,225銘柄

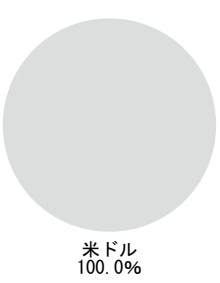
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



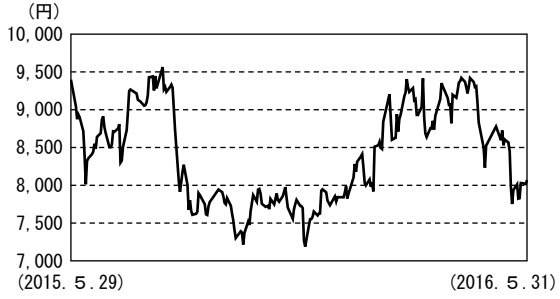
（注）基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。
（注）上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。
（注）上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要

（安定型）

《GCIシステマティック・マクロファンド クラスA》

◇基準価額の推移



◇１万口当たりの費用明細

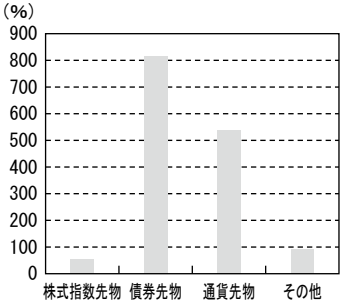
当該情報の取得が不可能であるため記載していません。

◇派生商品上位10銘柄

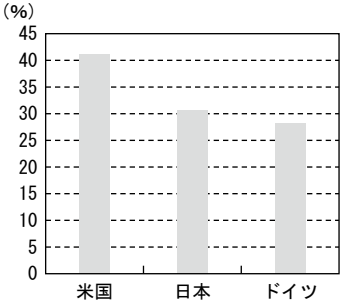
	銘柄	種類	通貨	国	組入比率(%)
1	JPN 10Y BOND(OSE) Jun16	債券先物	JPY	日本	422.5
2	EURO-BOBL FUTURE Jun16	債券先物	EUR	ドイツ	261.5
3	BP CURRENCY FUT Jun16	通貨先物	USD	米国	186.7
4	JPN YEN CURR FUT Jun16	通貨先物	USD	米国	150.0
5	Euro-OAT Future Jun16	債券先物	EUR	ドイツ	113.4
6	EURO FX CURR FUT Jun16	通貨先物	USD	米国	98.6
7	C$ CURRENCY FUT Jun16	通貨先物	USD	米国	54.4
8	AUDUSD Crncy Fut Jun16	通貨先物	USD	米国	46.8
9	DAX INDEX FUTURE Jun16	株式指数先物	EUR	ドイツ	23.4
10	Russell 2000 Mini Jun16	株式指数先物	USD	米国	22.8
組入銘柄数					12銘柄

（注）銘柄は、GCIシステマティック・マクロファンド クラスAが実質保有している銘柄です。
（注）国は、先物が上場している取引所の所在地です。

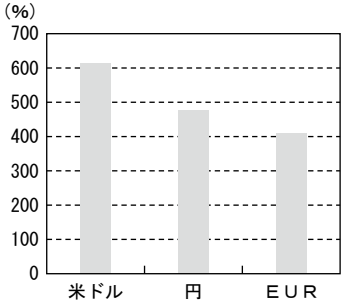
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



（注）基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注）派生商品上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在、同ファンドが実質保有している銘柄にかかるものです。
（注）派生商品上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入銘柄の評価額の割合、国別配分の比率は組入銘柄の評価総額に対する各組入銘柄の評価額の割合です。
（注）国別配分は、先物が上場している取引所の所在地に関する割合です。
（注）通貨別配分は、基準通貨に関する割合です。